

▼理事からのメッセージ▼

第 1 回海外視察とリテール証券業界を巡る日米情報ギャップの展望

吉永 高士

発足から 4 年目を迎えた FA 協会の活動も半年を過ぎましたが、おかげさまで 2023 年 9 月 26 日～10 月 5 日に第 1 回の海外視察をアリゾナ州フェニックスとカリフォルニア州ロサンゼルスにおいて実行できました。私も勤務地である米国東海岸から西海岸に移動し同行いたしました。事務方の 1 人として、訪問・面会先アレンジや会場のお手配、各種のネットワーキング等でさまざまにご支援ならびにご高配をいただきました委託証券会社様、運用会社様、ベンダー様等を含む皆様に対しまして、この場をお借りして、心よりの感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。

一方で、これまで金融商品取引業者や所属アドバイザーが、委託証券会社様や運用会社様を始めとするホストの皆様のご厚意を頼りにさせていただきながら実行していた従前からの海外視察へのニーズは今後も確実に高まりこそすれ、縮小していくことは絶対にないとは確信しております。しかし、それと並行して、金融取引仲介業者と所属アドバイザーを代表する業界団体として、自分たちが視察を主催者する催行者としての準備段階から実行に至るまでの態勢やロジスティクスにおいて十分であったかどうかという点では、自分を含め、甚だ反省するところも多い経験ともなりました。来年度以降の次回視察においては、今回の反省点を踏まえて、参加者にはもっと効率的で効果的な情報収集機会となり、かつ一層快適な体験が共有いただけるようしっかり準備したいと思いますし、面会アレンジ等でご支援いただきました皆様に対しましても、多くの恩返しができるよう努めて参りたいと思います。

さて、今回の視察内容についての報告は協会事務局からの情報発信に譲りますが、中味とは別の成果の 1 つとして、英文自動文字起こしアプリと、自動翻訳アプリを多くの参加者に試用いただき、かなり使えるということが確認できたことがあります。私自身も 4 年ほど普段使っている英文自動文字起こしアプリは、直近数年でも精度と速度が格段に上がっており、ほぼリアルタイムで（音声データのクオリティ次第ですが）95～99%の正確さで英語のメモ書きをしてくれます。これに加えて、私が日本から来られたお客様や同僚や知人らに日頃お勧めしている自動翻訳アプリや、それ以外に独自に見つけた翻訳アプリを今回の視察に日本から参加さ

れた方々もそれぞれに使用され、面会者や講師が英語のみで発言する内容も、コマによりますが6~7割ぐらいは通訳なしで概ね理解できたという使用后感もお聞きしました。翻訳の精度は、今後さらに、日進月歩で改善していくことは間違いないでしょう。

私は米国を本拠に金融機関の経営戦略や戦術等の調査を30年ほどしておりますが、リテール証券分野は日米間の情報ギャップや日本側での米国の実情に関する誤情報の流布度合いが最も大きい分野であると日頃感じています（比較の対象は、リテール銀行、投資銀行、トレーディング、生命保険、損害保険、資産運用ほか）。逆にいえば、世界最大のファイナンシャルアドバイザー数と、顧客数、預かり資産残高を擁する米国の先進事例や先行事例から、日本の（また他のアジアや欧州の）ファイナンシャルアドバイザーにとって学ぶに値するものがまだまだ多い状況下において、技術の革新が、ランゲージバリアに係る情報収集のハードルを大幅に下げ、その恩恵を享受できる機会や余地が他の金融分野よりも格段に大きく残されているともいえます。来年度以降の視察ではぜひ、英語ができない会員の方でも、過度な心配はなさらず、ご参加を検討いただければと思います。